

スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



マレーシア
Malaysia



都市名	人口（万人）
クアラルンプール	185
ジョホールバル	53
イポー	49
クアantan	42
コタバル	42

出所) 国際連合「Demographic Yearbook System」(2022年時点)

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場動向 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 6
- 主なスポーツリーグ 7
- 主なスタジアム 8

【業界情報】

- 日本のプロリーグとの連携 9
- 現地主要企業 10
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 11
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 12

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 13
- 国際競技大会開催情報 14

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 15
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 17

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 20
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 21
- 世帯所得分布 22
- 賃金 23

【健康・医療】

- 一人当たり医療費の推移 24
- 疾病構造・死亡要因 25

【規制】

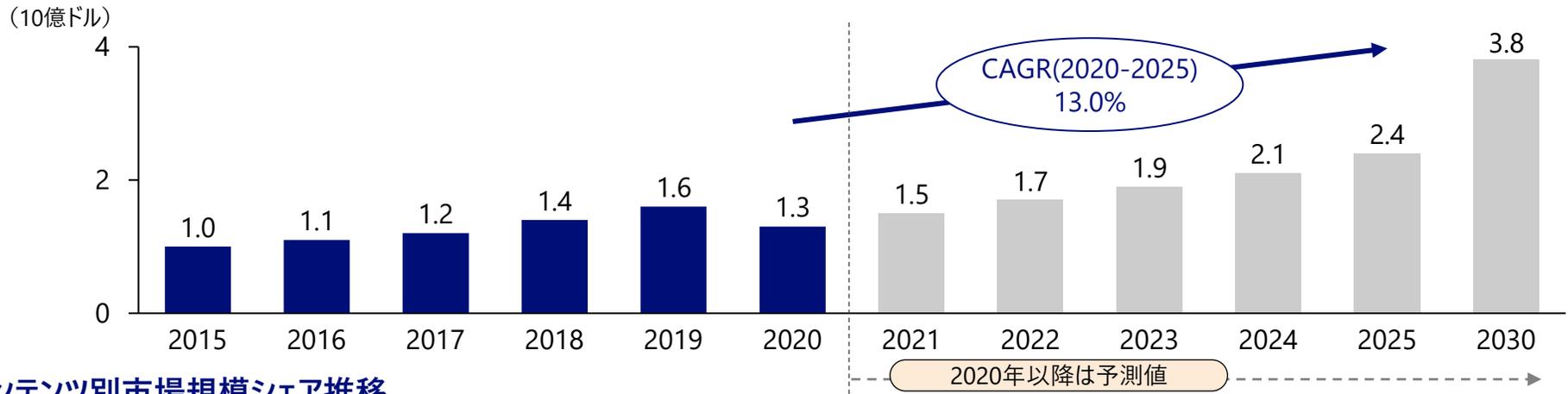
- 外資規制 26

スポーツ産業市場基礎情報

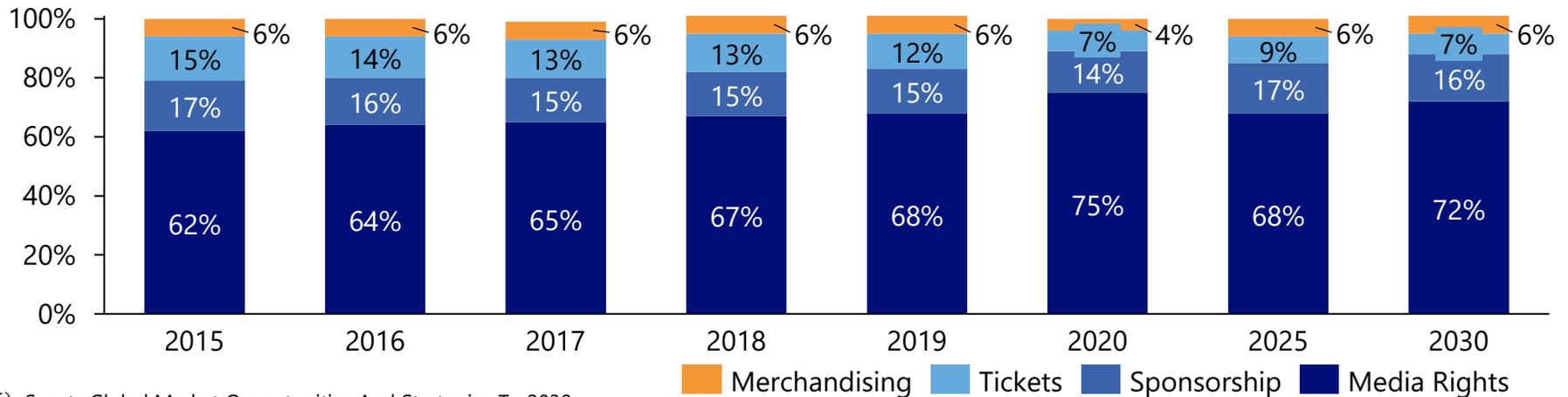
■ 2020年のマレーシアにおけるスポーツ産業市場規模は約13億ドル。CAGR (2020-2025) は13.0%。

- スポーツ産業の市場規模は国全体のGDPの0.330%。

スポーツ産業市場規模推移



コンテンツ別市場規模シェア推移

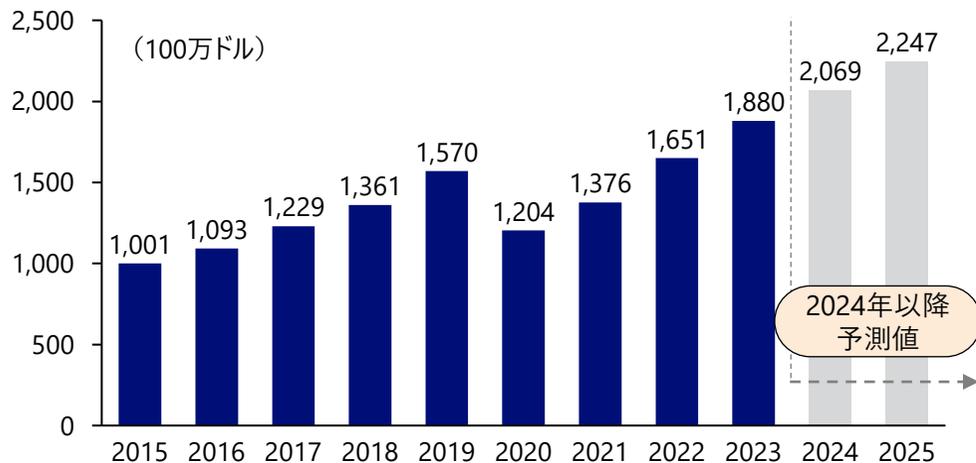


主要コンテンツ市場情報 (スポーツウェア、フィットネス市場)

👕 スポーツウェア市場

- 2023年のマレーシアのスポーツウェア市場は約19億ドル。CAGRは13.3% (2020-2025) と予測される。
- コロナウイルス感染症の収束により、旅行等が増加したことに加え、日常的にスポーツウェアやスニーカーを着用する習慣が高まったことが成長に繋がっている。
 - 特に、スポーツシューズやアスレジャー (アスレチックとレジャーを掛け合わせた造語) 製品が人気である。
- adidasが17%、Nikeが15%のシェアを占めるなど、国際ブランドの需要が高い

スポーツウェア市場規模推移

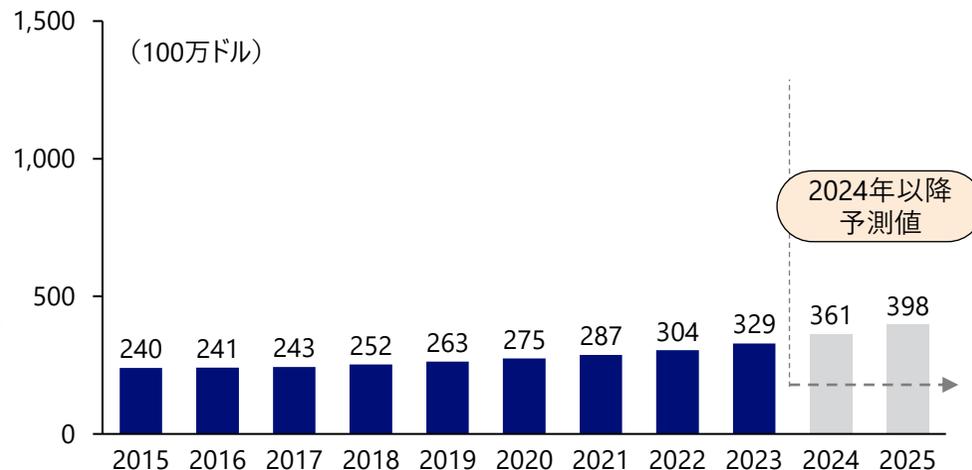


(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

💪 フィットネス市場

- 2023年のマレーシアのフィットネス市場規模は約0.33億ドル。
- 国民全体のフィットネスへの参加意識は低く、現在のフィットネス市場の規模は非常に小さい。
- 一方、肥満が社会問題化しており、国を挙げたキャンペーンが実施されていることや、都市部を中心として、仕事の生産性を高めることを目的で企業とフィットネスクラブの提携が進められていることもあり、フィットネスクラブの会員数は、増加傾向にある。

フィットネス市場規模推移



(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

■ マレーシアにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.06%

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業 従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
ドイツ	0.10%	28,531	544,897
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
マレーシア	0.06%	3,147	421,136
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
インド	0.05%	173,683	16,521
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

※...「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

現地で盛んな競技

- 国内で人気のスポーツは、サッカー、バドミントン、シラット (武術)、ゲイジング (コマ回し)、セパタクロー等である。
- 国際大会で好成績を収めているスポーツは、バドミントン。
 - 世界バドミントン連盟の本部は、2005年にイギリスからマレーシアのクアラルンプールに移されている。

東京2020大会におけるマレーシアの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
自転車競技 (トラック)	1	0	1	0
バドミントン	1	0	0	1

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
パワーリフティング	2	1	1	0
陸上競技	1	1	0	0
バドミントン	1	1	0	0
ボッチャ	1	0	1	0

一人当たりスポーツ支出

■ マレーシアにおける2020年の一人当たりスポーツ支出は40.2ドル。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
ドイツ	187.0
フランス	147.7
韓国	128.0
サウジアラビア	89.7
マレーシア	40.2
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

主なスポーツリーグ

- マレーシアでは、近年、各種スポーツのリーグの整備が進んでいる。
- 1980年代からバスケットボールのリーグが存在したが、2013年に終了した。

マレーシアにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム**	主要スポンサー***
National Baseball League (NBL)	野球	2023	8	毎週土日	不明	<ul style="list-style-type: none"> • プトラジャヤ・ブラザーズ • ペラ・トンバク • KL・シティボーイズ 	<ul style="list-style-type: none"> • Bubbles02 Sdn Bhd • Aeon Big Sdn Bhd.
Liga Super Malaysia	サッカー	2004	14	1月～7月	810,745	<ul style="list-style-type: none"> • Johor Darul Ta'zim F.C. • Terengganu FC • Sabah F.C. 	<ul style="list-style-type: none"> • National Sports Development Fund
Malaysia Premier Futsal League	フットサル	2019	14	2月～8月	不明	<ul style="list-style-type: none"> • Pahang Rangers • Johor Darul Ta'zim • Selangor MAC • Selangor TOT United 	<ul style="list-style-type: none"> • Bank Islam Malaysia Bhd. • Malaysia Abiation Group Bhd. • NIKE sales(MALAYSIA) Sdn. Bhd.
Malaysia Purple League	バドミントン	2014	8	12～1月	不明	<ul style="list-style-type: none"> • Ampang Jaya BC • Petaling BC • Puchong United BC 	<ul style="list-style-type: none"> • Senheng • redOne

*2023年における観客動員数

**直近のシーズンにおける順位上位チームを記載

***リーグの主要スポンサー企業を記載

主なスタジアム

主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
Stadium Bukit Jalil	ブキット・ジャリル	87,411	1998
Stadium Shah Alam	シャーアラム	69,372	1994
Stadium Darul Makmur	クアンタン	40,000	1970
Stadium Likas	コタキナバル	35,000	1983
Sultan Ibrahim Stadium	イスカンダル・プテリ	35,000	2020

日本のプロリーグとの連携

Jリーグ (サッカー)

- Jリーグは2015年、マレーシア・リーグとパートナーシップ協定を締結。両国のサッカー促進のための各種交流及び知識共有の協力を目的としている。協定内容は、下記：
 1. 指導者養成
 2. 審判養成
 3. 女子サッカーの発展
 4. ユース代表チーム間の親善試合およびキャンプ
 5. ユース競技大会の構築および運営
 6. フットサルの育成
 7. 商業化および収益創出指導者養成
- 2019年からは、パートナーシップ協定国出身選手を外国籍選手としてカウントせずに登録できる「Jリーグ提携国枠」制度を導入し、特にASEAN出身選手がJリーグで活躍しやすい環境を整備している。

現地主要企業（スポーツ用品、フィットネスクラブ）

- マレーシアには、スポーツ用品企業が一定数存在する。
- スポーツ用品企業で売上高が最大のCheetah Holdingsはマレーシアに拠点を持つ現地企業である。主に衣料品、服飾品を扱う。
- マレーシアには、多くのフィットネス関連企業が存在する。
- フィットネスクラブ企業で売上高が最大のC.H.I. FITNESS SDN. BHD. はマレーシアに拠点を持つ現地企業であり、2拠点でフィットネス施設の運営を行う。

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
Cheetah Holdings Bhd	スポーツ用品	4,486	
ELLEDI (M) SDN. BHD.	スポーツ用品	2,669	非上場
AFN SPORTS SDN. BHD.	スポーツ用品	304	非上場
VELOCITY SPORTS EQUIPMENT SDN. BHD.	スポーツ用品	N/A	非上場
C.H.I. FITNESS SDN. BHD.	フィットネスクラブ	352	非上場
LEVEL UP FITNESS SDN. BHD.	フィットネスクラブ	159	非上場
Sunway Lagoon Club Bhd	フィットネスクラブ	92	非上場
ORIENT FITNESS SDN. BHD.	フィットネスクラブ	N/A	非上場
Clark Hatch International Inc.	フィットネスクラブ	N/A	非上場
KUDOS KNIGHT FITNESS SDN. BHD.	フィットネスクラブ	N/A	非上場
TLS FITNESS CENTER SDN. BHD.	フィットネスクラブ	N/A	非上場
COUNTRY CLUB FITNESS FTX SDN. BHD.	フィットネスクラブ	N/A	非上場

教育分野におけるスポーツの活用動向

スポーツに関する学校教育

- 1994年から「Rakan Muda（若い友達）」と呼ばれる、若者をターゲットとした長期計画が定められた。その中でスポーツ・レクリエーションを含む10の民族文化プログラムが実施されている。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- スポーツ用品の販売、ゴルフ用品の販売を行う企業が進出している。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金 (RM)	従業員数	事業内容
Asics Malaysia Sdn. Bhd.	アシックス	不明	不明	スポーツ用品等の販売
Danlop Srixon Sports Asia Sdn. Bhd.	住友ゴム工業	50万	不明	ゴルフボール、クラブ等の販売、ゴルフ用品ソーシング

商談会・展示会

- ウェルネス、健康分野を扱う展示会に加え、モーターバイクの展示会が毎年行われている。

マレーシアで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
ABCEx - Southeast Asian Healthcare & Pharma Show	クアラルンプール	ABC Exhibitions Malaysia	毎年	ヘルスケア、製薬、クリーンルーム、医療ビューティー・ウェルネスを扱う展示
International Beauty Expo (IBE)	クアラルンプール	Elite Expo Sdn Bhd	毎年	スキンケア・コスメティック、ヘア・ネイル、スパ・ウェルネス、健康・栄養、体重管理を扱う展示
MALAYSIA BIKE SHOW	クアラルンプール	MARii HQ、Asia Trade Exposition Sdn Bhd	毎年	マレーシア最大のモーターバイクショー

国際競技大会開催情報

- マレーシアでは、2023年に空手とローンボウルズの大会が、2025年にはパラボーリングの大会が開催予定。

マレーシアで開催予定の国際競技大会

大会名	開催時期	主催者	開催周期	参加国数	参加選手数	摘要
空手1プレミアリーグ	2023年12月15日～ 2023年12月17日	世界空手連盟	毎年	－	－	－
アジア選手権大会2023	2023年	アジアローンボウルズ連盟	毎年	－	－	－
World Para Bowling Tour	2025年	World Para Bowling	－	－	－	－

スポーツ基本計画概要 (1/2)

- 2019年に、マレーシアにおけるスポーツ産業発展のため、「Visi Sukan Negara 2030」と呼ばれるスポーツに関する行動計画を定めた。
- 6つの戦略的コアの下、74のイニシアチブを示している。

計画名称	The National Sports Vision 2030 (VSN2030)
策定年	2022
計画概要	2030年までのスポーツ立国を目指し、12の基本的な価値観と6つの戦略的コアを定め、10年間にわたる方向性と計画を示している。
主要目標・施策	<ul style="list-style-type: none">(1) スポーツの文化化<ul style="list-style-type: none">差別排除、学校でのスポーツ教育の実施、アクティブなライフスタイルの浸透(2) 栄光あるスポーツ<ul style="list-style-type: none">アスリートの育成、ハイパフォーマンススポーツの育成(3) スポーツ産業<ul style="list-style-type: none">政府とスポーツ産業の協力、データベースの構築(4) 才能開発<ul style="list-style-type: none">データに基づいた才能の発掘(5) プロフェッショナリズム<ul style="list-style-type: none">安全なスポーツ環境、フェアプレーの精神の獲得、高度なスキルを持つスポーツ関係者(6) スポーツハブ<ul style="list-style-type: none">障がい者を含むあらゆる人にとって安全で利用しやすいスポーツ施設の整備、最新設備の活用
主要KPI	<ul style="list-style-type: none">マレーシア人の2/3が週に5回、30分あたりの運動やスポーツを実施すること

スポーツ基本計画概要 (2/2)

- 青少年・スポーツ省は、マレーシアにおけるeスポーツの卓越性を維持することを目的として「Strategic Plan for E-sports Development 2020-2025」を定めている。
- 戦略的優先事項の下、25の主要イニシアチブを示している。

計画名称	Strategic Plan for E-sports Development 2020-2025
策定年	2020
計画概要	政府の支援と戦略的イニシアチブを通じた世界的な成功の模倣を強調し、eスポーツの強化のための先見的な5カ年計画を定めた。eスポーツの持続的な成長と卓越性を目指している。
主要目標・施策	<ul style="list-style-type: none">(1) eスポーツの人材育成<ul style="list-style-type: none">• eスポーツのアスリート育成プログラムに注力し、キャリアプランニングと成長をサポートする。(2) 責任あるゲームの推進<ul style="list-style-type: none">• 行動規範を導入し、健康プログラムを実施し、eスポーツ選手の幸福を優先する。(3) eスポーツインフラの強化<ul style="list-style-type: none">• 全国的な会場とアカデミーを建設し、アクセスしやすいように施設を改善する。(4) 持続可能性の育成<ul style="list-style-type: none">• 選手、審判、トレーニングセンターのライセンスを導入し、団体やイベントの認証プログラムを導入する。(5) ガバナンスの整備<ul style="list-style-type: none">• アスリートとの契約を標準化し、健康プログラムを充実させ、競技の完全性のために男女平等を推進する。
主要KPI	<ul style="list-style-type: none">• 数値目標は特になし

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、世界78位。
- 達成度合いが高い項目は「貧困の撲滅」である。
- 特に課題が残る項目は「飢餓撲滅、食料安全保障」、「健康・福祉」、「ジェンダー平等」、「エネルギーへのアクセス」、「国内と国家間の不平等の是正」、「陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- (Green) : SDGsを達成している
- (Yellow) : 課題が残る
- (Orange) : 重要課題が残る
- (Red) : 主要課題が残る
- (Grey) : 情報入手不可
- ↑ (Green) : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ (Yellow) : 穏やかに改善
- (Orange) : 停滞
- ↓ (Red) : 悪化
- (Grey) : 傾向把握不可

女性の活躍推進に関する取組

政府によるジェンダー平等に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「ジェンダー平等」の項目は、主要な課題が残っている状況である。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 教育を受けた平均年数の男女比
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
 - 労働力率の男女比
 - 女性議員の議席数

女性の活躍推進×スポーツの事例

- イスラム教義とスポーツ
 - イスラム教徒の女性には、不適切な服装や男女間の過度な自由な交流に関連した一定の制限が存在する。
 - 大手メーカーによるスポーツ用ヒジャブの開発など、イスラム教徒の女性がスポーツへより参加できるような取組が進んでいる。
 - 一方で、大会参加資格とイスラム教義が折り合わず、試合に参加できないケースもみられている。
2018年の「アジア・パラ大会」では、国際柔道連盟のルールでヒジャブの着用が認められておらず、選手自身がヒジャブを脱ぐことを拒否したため、不戦敗となった。

質の高い教育に関する取組

政府による質の高い教育に関する取組

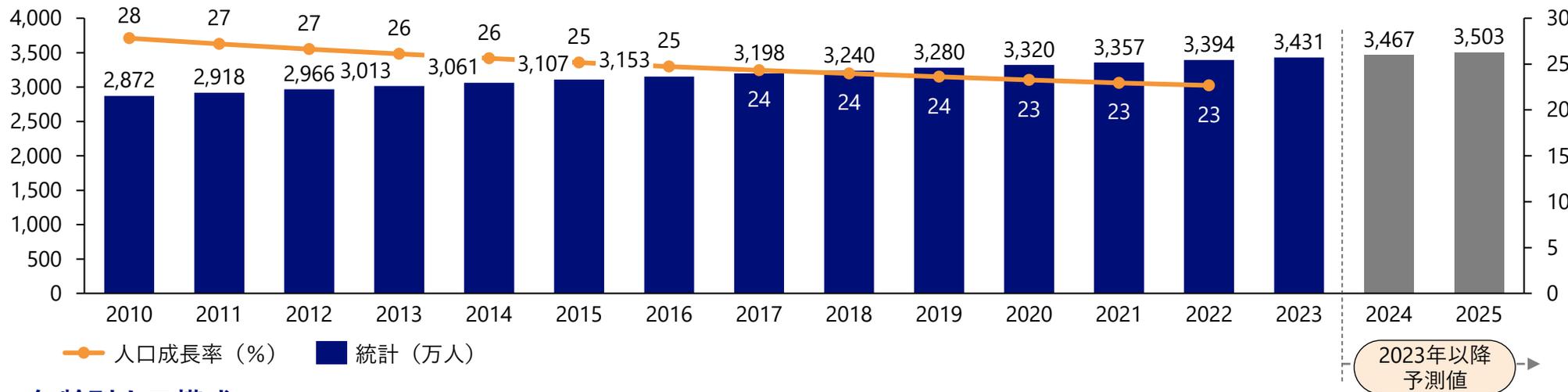
- Sustainable Development Report 2023によると、「万人への質の高い教育、生涯学習」の項目は、課題が残っている状況である。
- 「万人への質の高い教育、生涯学習」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 初等教育就学率
 - 識字率
- 「万人への質の高い教育、生涯学習」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 初等教育前の組織学習への参加率
 - 中等教育修了率の低下

質の高い教育×スポーツの事例

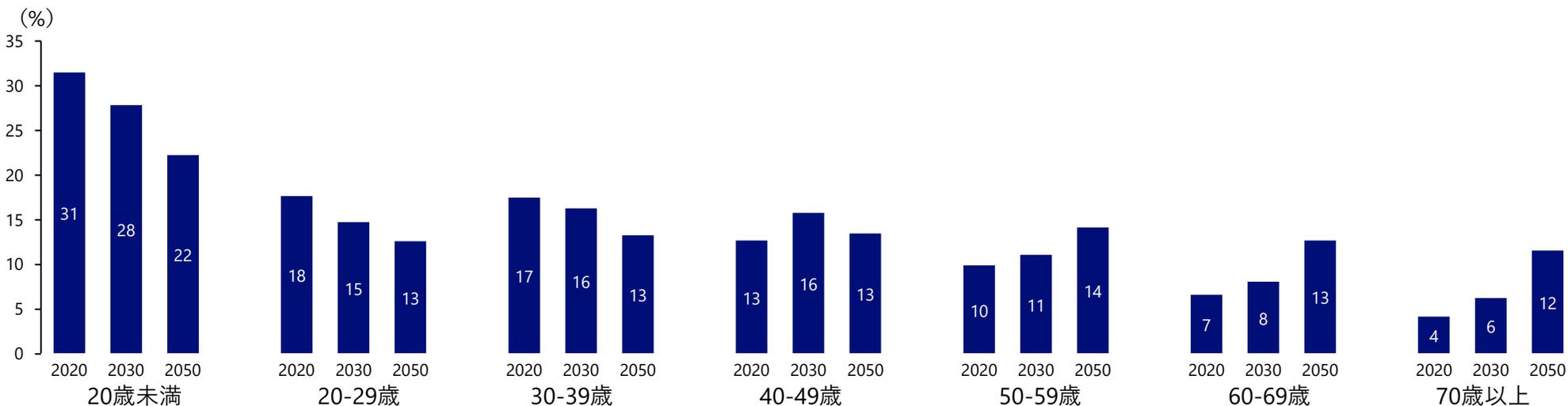
- マレーシア教育省による「One Student One Sport」の開始 (2011年～)
 - マレーシア教育省は、身体的、精神的、精神的な面でバランスのとれた生徒を育成することを目的として、「One Student One Sport」政策を開始した。地域社会でスポーツを育成するための国家スポーツ政策に沿った政策であり、「Sports For All」と「Sports For Excellence」という2つの戦略を柱として学校で取組が行われている。
 - この政策を成功させるための要因として、下記が重視されている。
 - ・ スポーツ施設・設備の需要へ対応すること
 - ・ 体育の授業数を増加させること
 - ・ 体育のカリキュラムを、生徒にとって関心が高く、生活の一部となるようなものへ変更すること

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



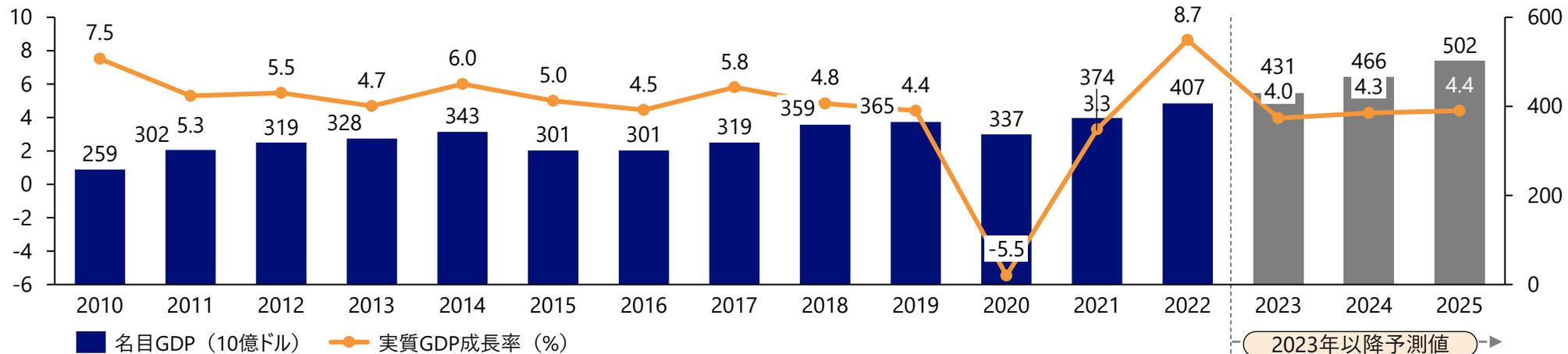
年齢別人口構成



(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

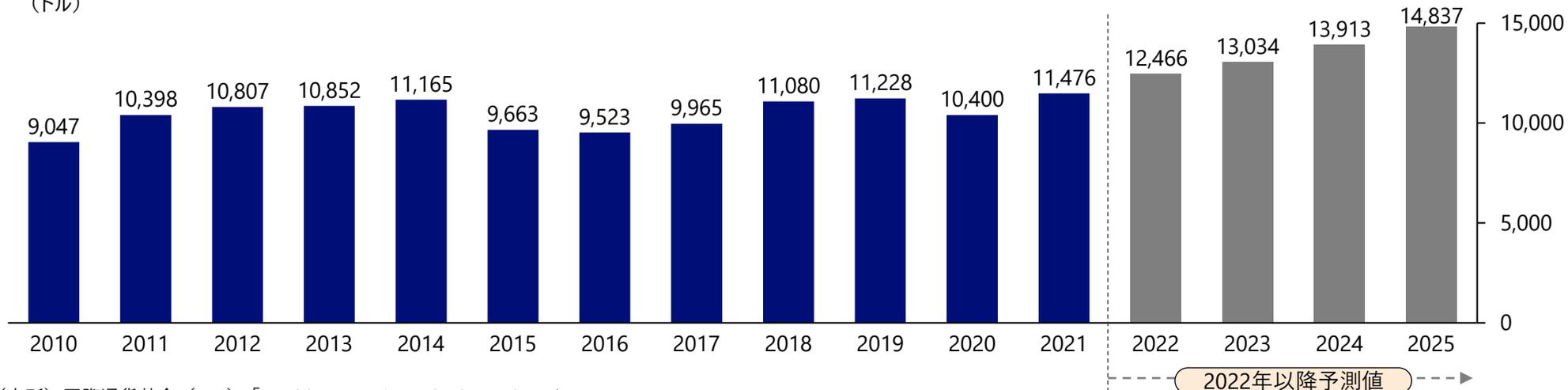
GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

(ドル)

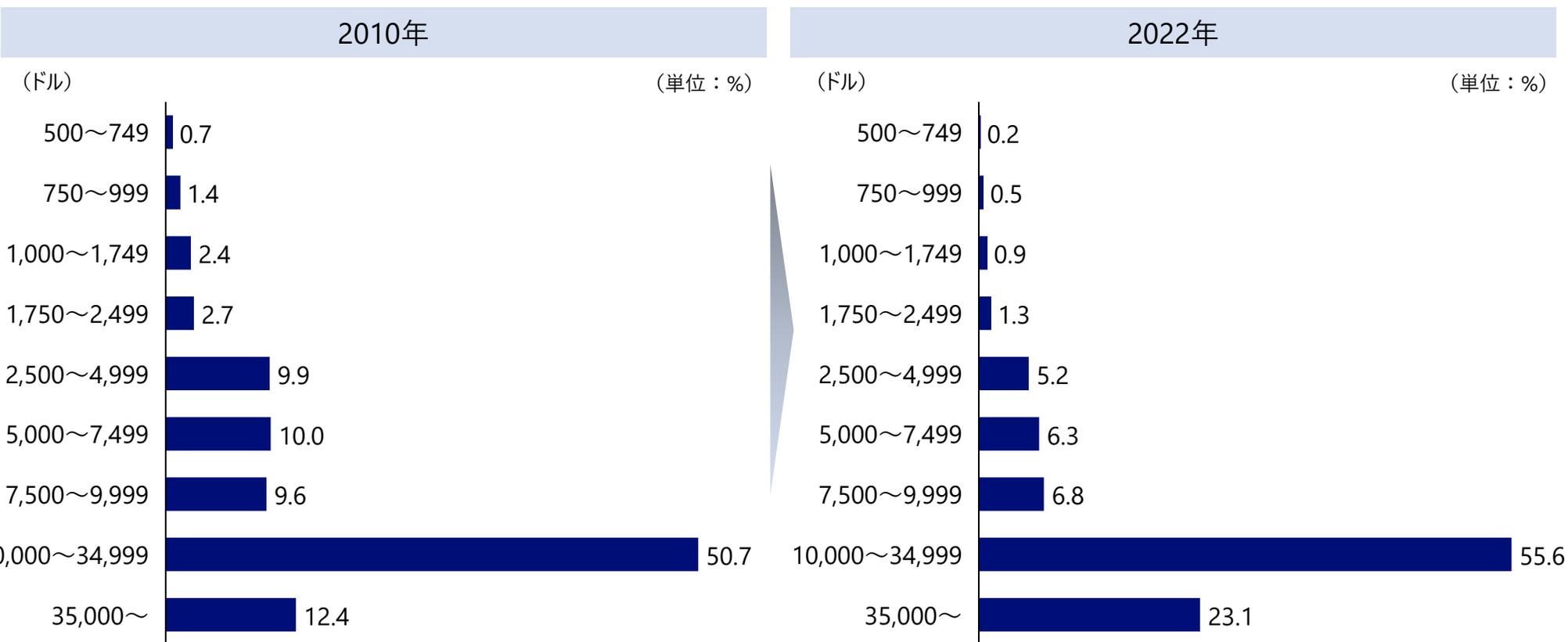


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

■ 2010年には12.4%であった高所得層（世帯所得35,000ドル～）が、2022年には23.1%に増加。

世帯所得分布



(出所) ユーロモニター

賃金

- マレーシアの製造業に従事する作業員の年間実負担額は、7,770ドル（日本円で約113万円）
- ASEAN地域の中では、タイよりは高く、シンガポールよりは低い賃金水準

マレーシアの製造業と非製造業における賃金と前年比昇給率

		基本給・月給 (単位：米ドル)	年間実負担額 (単位：米ドル)	前年比昇給率(%) (2022→2023)	前年比昇給率(%) (2023→2024)
製造業	作業員	451	7,770	4.6	4.1
	エンジニア	864	19,945		
	マネージャー	1,643	38,085		
非製造業	スタッフ	969	15,591	4.7	4.4
	マネージャー	2,074	31,170		

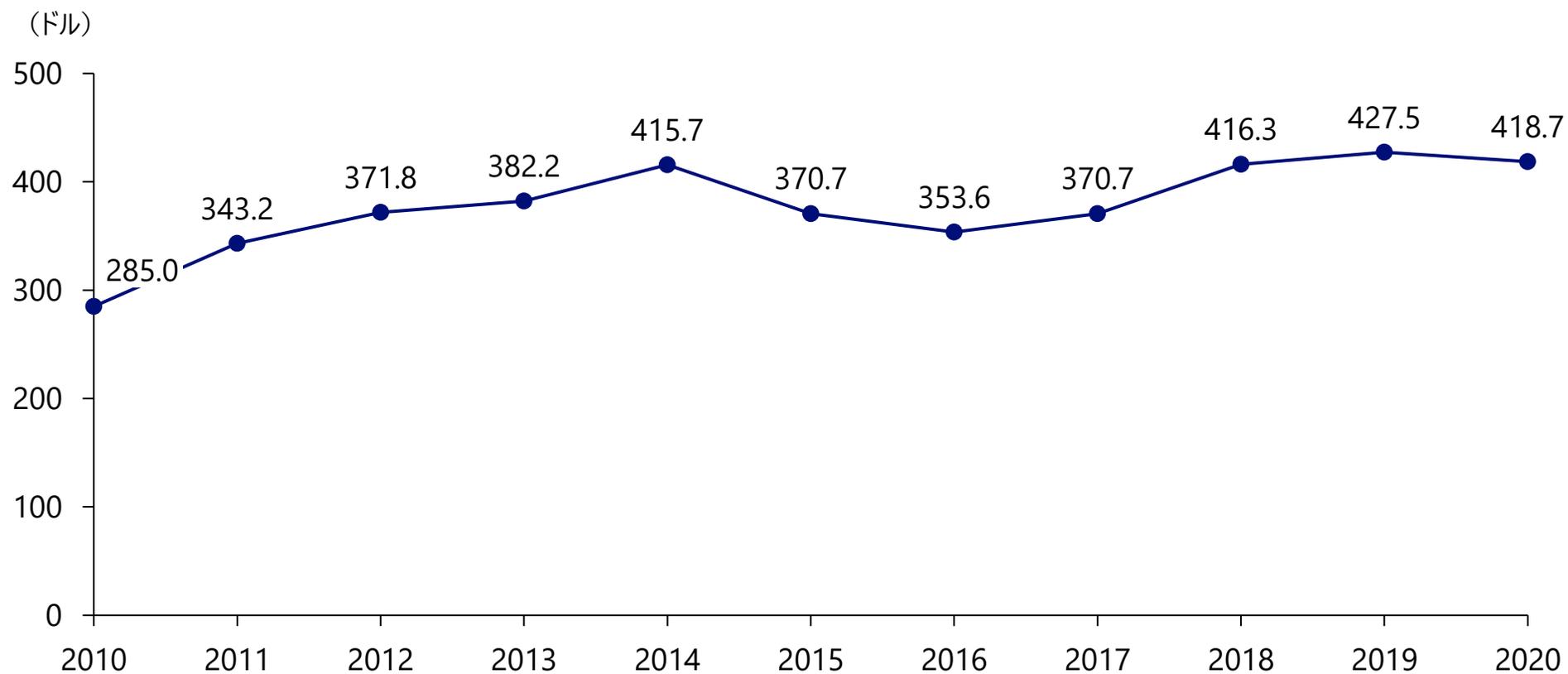
- 基本給：諸手当を除いた給与、2023年8月時点。
 - 年間実負担額：一人あたり社員に対する負担総額(基本給、諸手当、社会保障、残業、賞与などの年間合計。退職金は除く。2023年(度)時点。
 - 作業員：正規雇用の一般工職で実務経験3年程度の場合。ただし請負労働者および試用期間中の作業員は除く。
 - エンジニア：正規雇用の中堅技術者で専門学校もしくは大卒以上、かつ実務経験5年程度の場合。
 - マネージャー（製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
 - スタッフ：正規雇用の一般職で実務経験3年程度の場合。ただし派遣社員および試用期間中の社員は除く。
 - マネージャー（非製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
- ※各職種の自国・地域通貨建て賃金の平均値を、2023年8月の平均為替レート(各国・地域中央銀行発表)で米ドルに換算。

(出所) 2023年度 海外進出日系企業実態調査 (アジア・オセアニア編)

一人当たり医療費

■ 2020年の一人当たり医療費は418.7ドルであった。

一人当たり医療費推移



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

- 主要疾患の内訳としては、虚血性心疾患が最も多く、次いで下呼吸器感染症、脳卒中が多い。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2019年）

順位	疾病名	割合
1	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）	19.33%
2	Lower respiratory infect （下呼吸器感染症）	12.35%
3	Stroke（脳卒中）	11.33%
4	Road injuries（交通外傷）	4.31%
5	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	3.48%
6	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）	3.47%
7	Lung cancer（肺がん）	2.97%
8	Colorectal cancer（結腸直腸がん）	2.75%
9	Cirrhosis（肝硬変）	2.72%
10	Diabetes（糖尿病）	2.15%

順位	疾病名	割合
11	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）	2.09%
12	Breast cancer（乳がん）	2.00%
13	Urinary diseases（泌尿器疾患）	1.56%
14	Tuberculosis（結核）	1.13%
15	Self-harm（自傷）	1.02%
16	Falls（転倒）	0.99%
17	Stomach cancer（胃がん）	0.96%
18	Liver cancer（肝臓がん）	0.92%
19	HIV/AIDS（後天性免疫不全症候群）	0.87%
20	Leukemia（白血病）	0.79%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

外資に関する規制

カテゴリ	
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none">• 一般に、国家権益に関わる事業、すなわち水、エネルギー・電力供給、放送、防衛、保安などに関し、外資出資比率の上限を30%または49%と規定している。
出資比率	<ul style="list-style-type: none">• 原則、民間企業に対する外国資本の出資比率は、所轄官庁のライセンスや許認可に付与された出資条件によって決まる。• 製造業、流通・サービス業では、一部を除き100%外資が認められている。
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none">• マレーシア国内の土地は州によって管轄されており、土地・不動産を所有するためには、州当局の認可を得て土地の登記を行う必要がある。• 住宅に関しては、外国人個人による登記も認められているが、商業物件、工業用地、農業用地については、現地法人を設立して登記しなければならない。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none">• 最低払込資本金は、事業内容や必要な許認可に応じて定められている。• 製造ライセンス取得会社では、株主資本250万リンギ、流通・サービス取引では100万リンギである。
その他規制	<ul style="list-style-type: none">• 2010年競争法（Competition Act 2010）。

（出所）JETRO「日本からの進出に関する制度/外資に関する規制」